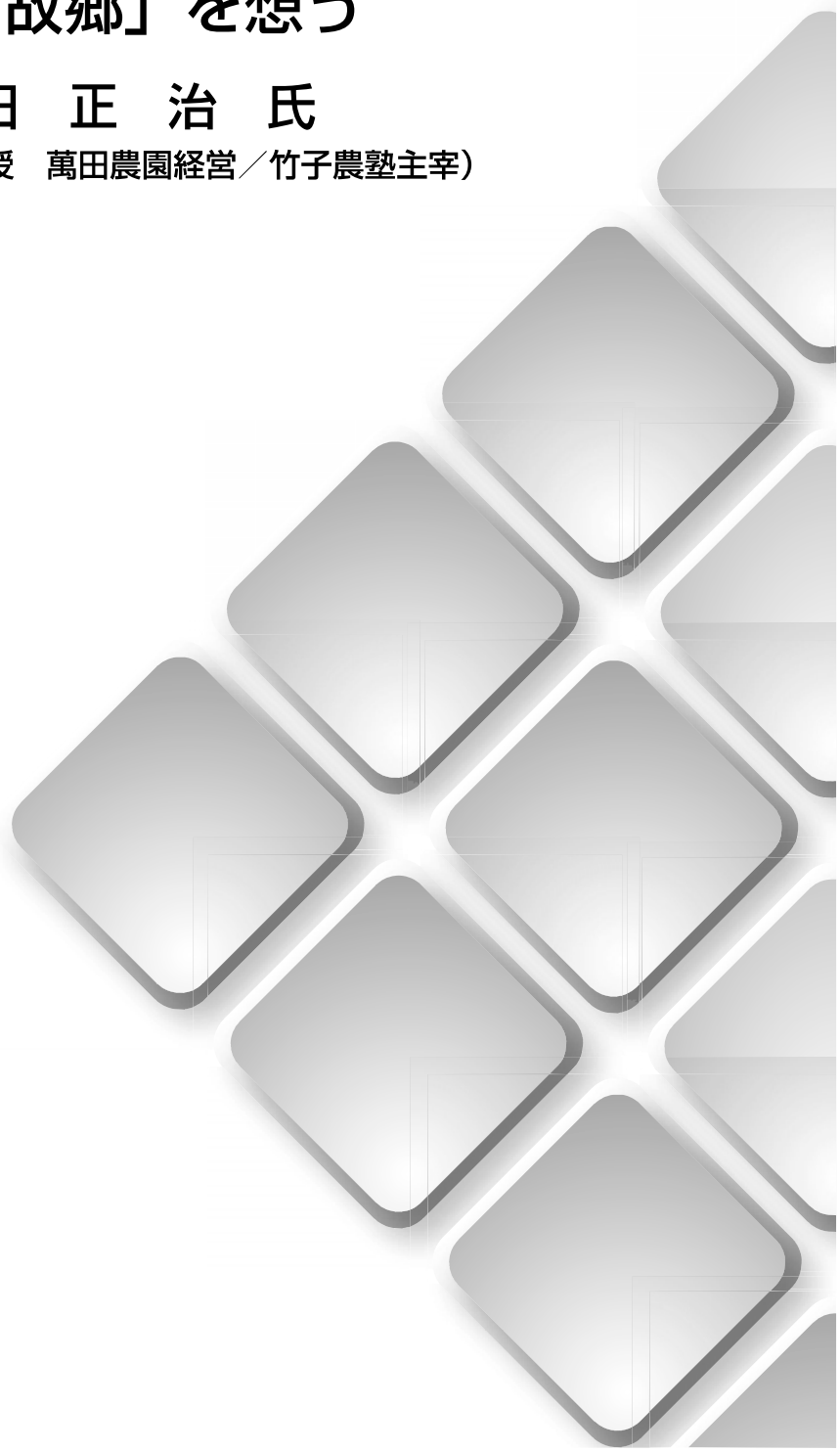


■ 基調講演

唱歌「^{ふるさと}故郷」を^{おも}想う

萬田正治氏

(鹿児島大学名誉教授 萬田農園経営／竹子農塾主宰)



皆さんこんにちは

ただいまご紹介いただきました萬田でございます。

今日はお招きいただきましてありがとうございます。

今収穫の真っ最中でありまして、台風が近づいたので、あわてて昨日から脱穀を始めまして、今日も午前中やりかけてこちらにやって参りました。

今年は天候不順で散々でしたね。今年は農家はどこも大変だったと思います。

去年、私の家の軒下の高さ約2.5mの所にスズメバチが巣を作ったので、台風がきませんでした。昨年は台風が来なかったですね、鹿児島には。

スズメバチは予知能力が高いなあとと思っています。

今年もスズメバチが巣を作ったので、今年は台風が来ないと思っていました。

でも、ひょっとして最後に来たら逆転満塁本塁打だと思っていましたら、台風14号が来ました。

そういう意味では、スズメバチは予知能力はあるということで、生き物のすばらしさを感じて嬉しく思っています。

唱歌「故郷」を想うと題して話をするのは今までなかったことです。

若い頃はこんな事を考える余裕がなかったんですが、60歳を過ぎて今68歳ですが、このような話をする心境になってきたので、今日は思い切ってこのような話をしてみたいと思っています。

今日お集まりの方々は、ご存じの歌ですよ「故郷」という歌を。

小学校の頃教わったことはありますよね。

今の若い人は小学校で教わっていないそうですね。学生に聞いたら教わっていないということでした。

この歌は国民的人気があり、どこでも歌っていました。

この歌を作ったのは、長野県の高野辰之さんという方だそうです。千曲川のほとりの風景を思い起こしながら歌を作ったと言われています。

曲を作ったのは、鳥取県の岡野貞一さんで、この方も故郷の鳥取を思い出しながら曲を作ったのではないかと思います。

◆基調講演◆

唱歌「故郷」 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

- 1 兎追ひし かの山
小鮒（こぶな）釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき 故郷（ふるさと）

- 2 如何（いか）にいます 父母
恙（つつが）なしや 友がき
雨に風に つけても
思ひ出（い）づる 故郷

- 3 志（こころざし）を はたして
いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷
水は清き 故郷

私はこの歌の特にすばらしいところは、

1番で、故郷の自然の豊かさを歌い上げている。

2番で、人間の問題をきちっと歌っている、両親のこと、友達のことを思い、人間と人間の問題までちゃんとふれている。

そして3番には、もし良かったら我が故郷に帰りたい、カムツーホームですね。故郷に帰りたいということを歌っている。自然の豊かさと人間のことをきちんと両方にふれていることに、私は、この歌のすばらしさを感じています。

私もずっとこの歌を歌ってきたんです、昭和40年代までは唱歌「故郷」をよく歌っていました。

私の学生時代、コンパをやったら当時の恩師が、最後に万歳三唱ではなく、タクトを持って学生を立たせて、3番まで歌わせたんです。歌わせられたということもあったんですが3番までよく覚えていて歌いました。

ところが昭和50年代になると歌わなくなってしまいました。

私は昭和51年に鹿児島大学に赴任してきました。

それまでは、東北、北海道に長く住んでいたんですが、鹿児島に帰ってきて、大学の教壇に立つようになって、だんだん歌われなくなってきました。鹿児島が悪いということではないんですが、歌わなくなっていました。

だんだん空しくなってきました。

歌わなくなった理由として大きく分けて2つあるような気がします。

1つは農村の自然環境が破壊されてきている空しさがあり。もう1つは、農村社会そのものが崩壊の危機に瀕してきているからではないかと。

つまり、故郷という農村が、唱歌「故郷」に歌われているような世界はなくなってきている、消えていくということ。そういうことを思えば歌う気がしないです。

歌うほど悲しくなり、むなしくなって歌われなくなってしまったということです。

まず自然環境の問題です。

農村は緑が多くて、豊かな自然環境、そしてグリーンツーリズムがはやっていると思われていますが、果たしてそうなのでしょうか。

皆さんは、緑に騙されていないだろうか。

多くの方が、農村というのは、緑が多くイコール自然豊かであるという錯覚に陥っていませんか。という話を最初にしてみました。

実は戦後の農業は発展しましたが、自然環境に対しては負の要素になりました。自然環境は汚染されてきたといえます。

具体的に言えば、1番に農薬、除草剤をたくさん使ってきました。今もそうです、

これなくしては農業は出来ません。農薬、除草剤を通して土と水を汚染し、そして多様な生き物を殺してきているのではないですか。

2番目は、便利ですから化学肥料を多く使うようになった。堆肥は大変ですから、化学肥料を使うことで地力は一時あがって作物は良くできるんですが、一方で土を殺し、水を汚染していくことが分かっています。

3番目は、家畜をたくさん飼うようになって、日本人は、和食から洋食にと食生活を替えたことです。それにならっておかずは畜産製品を摂るということです。

その家畜の餌は、海外から輸入しており、家畜から出た糞尿は返すところがないんです。家畜に餌をやると、どのくらい家畜の血となり肉となるかということ、畜種によって違いがあ

◆基調講演◆

るが、3～4割は血となり肉となるが、残りの7～6割は糞尿となって外に出ていきます。

そしてその処理に困ります。野積みをしているので、雨で川に流れ、地下水も汚染してきています。

4番目は、農業資材をたくさん使うようになったことです。特に塩化ビニールです。

今、塩化ビニールをたくさん使っています。ハウス園芸、マルチ栽培が今盛んに行われています。

塩化ビニールは劣化して、ぼろぼろになると、廃棄処分しなければなりません。

昔はこれを野積みして焼いていたんです。恐ろしい猛毒のダイオキシンが発生する問題にぶつかっています。

5番目は、農地の基盤整備が徹底して行われ、曲がっていた田畑を基盤の目状にしました。

水が水田や畑に能率良く流れてくるように3面コンクリートにしてしまったことで、田畑に今まで住んでいた水生生物を排除してしまいました。

6番目は、森林の人工林化が進んだことです。一時住宅建設ブームがあったけど、自然林が減って行って多様な森林生物が生きていけなくなりました。

杉、檜林ではほとんどの生き物は「昼なお暗き杉林」というように住むことが出来ません。

このように、農業の発展が農村の自然環境を破壊することになってしまいました。

もうちょっとデータで申し上げますと、農薬の使用量なんです。

主要国の農薬使用量の推移を見ると、1ヘクタール当たりの使用量の比較なんですけど、日本がダントツ世界一なんです。

環境問題がいわれるようになって農薬を控えるようになったが、今でも農薬を使うのが世界一なんです。

次は韓国で、中国のデータはないですが、いずれ中国が追いついてくると見えています。

この写真は私の家の居間から撮った写真です。

昼間、コブノメイガが発生したので農薬を散布しています。農家の人はマスクしかしていません。

風向きをよく考えて散布しているんでしょうか、私の家の居間にも入ってきて臭いがします。

農薬は皮膚を通して身体に入ってきます。こ



んな装備でいいのかなと思います。平気でまいてます。

これは朝早く飛行機で散布する航空防除の写真です。



特にお年寄りには確かに助かるということはあると思います。

しかし、ここに住んでいる生き物は悲鳴を上げています。無差別大量殺戮です。

害虫、病気だけを限定して散布するのは分かりますが、益虫もただの虫も全部殺してしまうのです。

私は農家の人からよく質問を受けます。

「先生は、農薬は使わない方が良くと言われますが、人は病気になったら薬を使うではないですか。そうしたら、農作物も病気になったら農薬を使って何故悪いんですか」とよく聞かれます。

私は「問題の本質が違うんじゃないですか」とこう答えます。

人間は薬を飲んでも他人に迷惑はかけない、自己完結です。

環境や他の物に影響を与えるということがないんです。

薬といっても意味が違うのではないですか。

ところが、「農薬をまくと周りの環境に影響を与えるじゃないですか」と。

何故カレーライスに農薬を入れたら捕まるのか。

農薬をカレーライスに入れて捕まった事件がありましたね。でも農薬を田圃や畑にまいても捕まらない。

こういうことで、農薬は環境に影響が出てくるのです。

有機水銀による水俣病は農薬の原点です。農薬はできるだけ使わない方が良いです。

農薬を使うことに痛みを感じているのか、農薬を使った時に周りの生き物たちに「ごめんなさい」とか言っているのか。

「ごめんなさい、勘弁してね、私は米を食べるためには、農薬を使わなければならない」という痛みを持っているかということによって違ってくると思います。

ミジンコというのがいます。田圃の水をすくって目で見ると肉眼で見えます。

ちょちょっと動いています。これが動物プランクトンなんです。